

新潟市立横越中学校



【学級数】

11学級

【生徒数】

1年生 104人

2年生 99人

3年生 97人

全校 300人

【地域コーディネーターの有無】

有・無

地域との関わりを深めながら、郷土を愛する人間性豊かな生徒の育成を目指す

1 はじめに

校区は、昔からの農村と新興住宅地の混在地域で、家庭環境や保護者の考え方に多様性が見られる。しかし、地域の小中学校に対する関心は高く、学校行事への積極的な参加はもちろん、校外における生徒の情報提供も多い。特に、生徒の善行を含めたプラスの情報が多く、子どもを温かく見守る地域の姿勢が強く感じられる。

この「地域と学校パートナーシップ事業」を通し、小学校、地域、保護者との連携・協働を更に高め、「地域の一員」という自覚を生徒に促したい。自覚の高まりは、積極的な地域行事、ボランティアへの参加を促進し、生徒の豊かな人間性の醸成につながると考える。

2 取組の実際

(1) キャリア教育を通して

①福祉学習（1年生）

福祉について理解するとともに、施設訪問活動を通して、共生に向けた態度と実践力を身に付ける。

②職業体験（2年生）

地元企業等の職場を訪問し、体験活動を通して働く意義を学ぶとともに、地元企業や事業所への関心を高める。

③上級学校調査（3年生）

先輩へのインタビュー活動を通して、自分の将来についてキャリアプランニングをする。

(2) 学校行事を通して

①ピカピカ大作戦（8,10月）

地域の方々とともに地域の街灯、地下道清掃を行い、地域の一員としての自覚を高める。

②学校づくり委員会（12月）

教職員、生徒、保護者、小学校、地域住民が地域と学校の未来図について語り合う。

(3) 特別活動を通して

①横越昔語り（図書委員会）

地域ボランティアにより横越地域の昔話を生徒に語り、聞かせ、地域の歴史への関心を高める。

②ボランティア演奏会（吹奏楽部）

小学校や地域への演奏活動を行い、地域住民とのコミュニケーションを深め、慈愛の精神を身に付ける。

教育目標 進んで学び 協力し合い たくましく生きる生徒

小学校、地域、保護者との連携・協働

地域と学校のパートナーシップ事業

- 横越の子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を横越小と連携・協働した教育活動を行うことで育てていきます。
- 「地域と学校パートナーシップ事業」を活用し、地域の教育資源と学校が繋がり、「地域と連携・協働した教育活動」を行います。
- 父母と教師の会、コミュニティー協議会、公民館、民生児童委員などの関係団体等との連携を行います。

③福祉施設訪問（エコ・ボラ委員会）

定期的に福祉施設訪問を行い、地域とのコミュニケーションを高め、自主性や慈愛の精神を身に付ける。

(4) 地域生徒会を通して

①地域生徒会組織

自治会規模に合わせ、校区を12区に分割。名簿、組織作り(正副地区長、ジュニアスタッフ選出)を行う。

②活動内容

- ・名簿、連絡網作成
- ・地域付近危険箇所確認
- ・地域活動参加の確認

③ジュニアスタッフの役割

ジュニアスタッフメンバーを横越公民館に登録。公民館や地域自治会の依頼を受け、地域行事への参加や補助を率先して行う。

3 成果と課題

及び本実践で育成された資質・能力

(1) 成果

コロナウィルス感染対策による活動自粛により、職業体験や先輩へのインタビューが中止となり、十分なキャリア教育ができなかった。そのため、本年度の実践を検証するのはむずかしい。

しかし、昨年度小学校との間に総合的な学習の実施内容を交換し合う機会を得て、小中の重複する内容等を確認した。また、共通して伸ばしたい資質についても意見交換できた。今年度、それを受けて地域学習プログラムの改訂を図り、9年間を見据えたプログラム作成に一步前進できた。

生徒は活動を通じ、地域の企業や事業所へのアポイントや案内、礼状書き等を分担し、外部との渉外について、その手段を身に付けることができた。

また、外部講師の講話を真剣に聞き、

それをヒントに、上級学校や職業についてインターネットや図書館資料を活用し、自主的に調べていた。そして、学習内容を、個々のポートフォリオとしてまとめ、情報や意見を交換することができた。

(2) 課題

先に紹介した「ピカピカ大作戦」は、生徒が地域を振り返りながら、生徒自ら考案した企画である。中学生の地域行事への参加は多い。更に「地域の一員」として地域の課題に目を向け、生徒が課題解決の手段・方法を発信できる地域教育を目指していきたい。

また、タブレットを中心としたICTの活用が始まる。情報収集、協働や発信等、様々な面での活用性を考慮した計画の再考も必要である。

4 おわりに

地域教育プログラムを推進するに当たって重要なのは、地域教育コーディネーターの役割である。地域のことをよく知り、太いパイプとなって学校と地域を結び付けてくれる。当校の様々な教育活動で人材、場所、方法を支援するばかりでなく、他校の活動内容等の情報も提供し、より良い学習プログラムの構築には欠かせない存在である。今後も、コーディネーターの支援に感謝しながら、より良い地域教育の推進を目指していきたい。